



特集

高校が 曾於スゴイ



文理科のスゴイ

The Humanities and Science Course

文理科のスゴイ その1

少人数クラスだから

生徒同士で教え合える授業が実現。

文理科は現在、1年生が13人、2年生が16人、3年生が12人。少人数だから、授業の質問も緊張せずできる。先生との距離が近いのはもちろん、クラスメートと教え合うこともできるちょうどいい形。



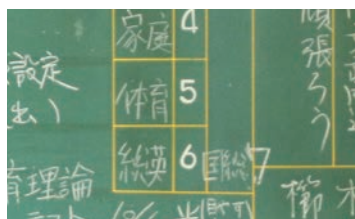
文理科のスゴイ その2

文系も理系も同じクラス。

1学年1クラスだから、理系も文系も同じクラス。選択授業の時はもちろん分かれるが、テスト前には苦手な分野を教え合える。コース選択で友達とクラスが別れなくていいのも利点。

文理科のスゴイ その3

授業は0時限目から
7時限目まで。



文理科は、国公立大学や難関私大を目指すコース。

勉強をする習慣、学習時間の確立が重要になってくるため、学校でも1日7時間、授業が行われる。その結果、昨年の文理科卒業生の4割は、国公立に合格という確かな実績につながっている。1日7時間と聞くと勉強ばかりの学校生活のように感じるが、放課後は部活動に励む生徒も多く、文武両道が実践されている。

文理科のスゴイ その5

受験科目である英語と数学を特化。楽しみながら
の実践的な学習。

英語では、絵本の翻訳コンテストやスピーチコンテスト。数学も座ったままの授業ではなく、生徒同士が話し合いながら考えるなどの工夫が。



文理科のスゴイ その4

無理のない自主的な勉強を目指す
様々なイベントが。

1・2年合同の2泊3日で行われる勉強合宿「SSG」や県内の他校生も集まって各校の先生が授業する「グレードアップゼミ」「郷中ゼミ」への参加など、交流を兼ねての勉強会が行われている。大学訪問も1年生のうちから行う。学食でご飯を食べたり、大学教授や大学生の特別授業を受けるなど、大学生活を体感でき、楽しみながら進路、今後の目標を考えることができる。



普通科のスゴイ

The General Course

普通科のスゴイ その1

総合学習が本気。

1・2年合同で行う「曾於学」。

どの学校でも行われている「課題解決の方法を学ぶこと」を目的とする総合学習。この時間を有効に活用しようと、今年度から地域貢献をテーマとする「曾於学」を始めた。曾於市に還元するために自分たちに何ができるかを考え、生徒たちがチームを編成。

今年度のチームは、音楽班、教育班、介護班、調理班、保育班、募金・リサイクル班、清掃班、PR班の8つ。「曾於市を動かす」ことを目標にそれぞれが実際に地域に赴き、実際に活動を行う。自ら考え、実践し、それをまとめて、年度末に発表する予定となっている。



普通科のスゴイ その3

学校行事にも

本気な生徒が多い

昨年の文化祭で、発表の最優秀賞をとったのは普通科のクラス。体育祭や文化祭、合唱コンクールなど様々な学校行事でクラスの団結力は、かなり高いそう。

普通科のスゴイ その4

部活の加入率が高い

勉強はもちろんだけど、部活もしっかり充実させたい！という生徒多し。バランスがとりやすいのが普通科の利点でもある。

普通科のスゴイ その2

5学科あるからこそわかる、普通科を超えた多彩な進路。



普通科は2年次から「進学コース」と「キャリア探求コース」に分かれる。現在は進学コースへ進む生徒が多いが、その中身は国公立を含めた大学の推薦入試に挑戦する生徒や専門学校を目指す生徒、就職を目指す生徒など様々。

曾於高校には専門学科が多いことから、企業からの求人票も普通科だけの高校より充実している。就職した卒業生が残す「受験報告書」なども保管され、ここでしか知ることのできない情報も多い。その「情報」という恩恵は学科を超え、共有されている。

進学
88%

普通科の進路
(1期生)

就職
12%

畜産食農科のスゴイ

The Agriculture Course

畜産食農科のスゴイ その 1 黒豚と黒牛を学ぶ 「畜産コース」がある。

畜産コースは、黒豚のクラスと黒牛のクラスがある。曾於高校の農場で現在、牛が約 40 頭、豚を約 110 頭育てている。育った牛は曾於市の枝肉共励会へ出品、豚も今年は文化祭で肉を販売するなど、校外でも評価される環境となっている。



畜産食農科のスゴイ その 2 「栽培コース」の販売会 市民の人たちにも大人気。

栽培コースは、花きと野菜のコースが。育てた花や苗、野菜は、文化祭や市民祭、また年に 2 度ある販売会で売られている。「よく育つ」と好評で、多くの市民の人たちが買いに来る。



畜産食農科のスゴイ その 4 学年を超えた交流。 年に一度の「勤労感謝祭」。

家畜や作物に対して生命の尊さや感謝の気持ちを確認するため行われている。畜産科 3 学年すべてが集まり、生徒や先生の親睦を深める機会にもなっている。

畜産食農科のスゴイ その 5 初歩からの学習が基本。

「動物が好き」「実家が農家」など、生徒たちの入学理由は様々。授業内容は初歩から始める、専門的な知識はなくても、入りやすい雰囲気。

畜産食農科のスゴイ その 3 「食品加工コース」は こだわりの商品開発。

今年できたばかりの食品加工室は、曾於高校の農場の一角にある。最新設備の中で、食品加工に関するイロハを学ぶことができる。「肉味噌」はこの代表的な商品。鶏、豚、牛の 3 種類ある。そのほか、特産品をつかったジャムの開発など、年間を通して、こだわりの商品開発を行う。



機械電子科のスゴイ

The Machinery Course

機械電子科のスゴイ その3

板金溶接・機械加工・情報・電気工学等、
パートごとに分かれて授業。

機械電子科の実習は、各学年とも4パートに分かれて実施され、クラスを10人ずつの班に分け、少人数制で行う。それぞれの班が5～6週かけて各パートを取得、1年かけて4パート全てを学び、3年間で12パート学ぶことができる。

より専門的な学習については、2年次の選択授業で「機械コース」と「電子機械コース」に分かれ、知識を高める。



機械電子科のスゴイ その4

ものづくり、大好き！
ワクワクが実感できる。



実習では作品をつくることが多く、その達成感
は大きい。元々ものづくりが好きな生徒が多い
からか、皆授業でも目を輝かせ、一生懸命行っ
ている。つくった作品は「大隅地区専門高校フェ
スタ」での販売や、県の工業高校が集まって行
われる「生徒発表大会」での展示など、外に向
けて発信をしている。

機械電子科のスゴイ その1

曾於高校で新設された工業科！
一から歴史をつくる。

岩川高校の閉校に伴い、「工業科をなくしてはいけない」と新設されたのが、この機械電子科。生徒も先生も「これからの歴史をつくる！」と、皆前向き。

機械電子科のスゴイ その2

ロボット・溶接を専門とする
先生がいる

工業科の先生の専門は様々。現在、曾於高校にはロボットと溶接に詳しい先生がそれぞれいる。授業はもちろん、部活動として「溶接工作部」があり、そこでは、さらに知識を深めることができる。溶接工作部は、今年溶接班が県大会で優勝し、九州大会へ。ロボット班も県大会で準優勝し、全国大会への切符を手にした。

溶接工作部には、他学科の生徒も所属しており、科を超えて切磋琢磨できるのも曾於高校の魅力のひとつ。工業と農業と商業、そして普通科があるのは県内でもここだけ。



商業科のスゴイ

The Business Course

商業科のスゴイ その1

実践型！ **生きたビジネス**を学ぶ。
「地域経済開発」コース。

2年次からの選択授業。現在の3年生は、昨年フリーペーパー「Sootopia」を発行開始。掲載店への営業から取材、紙面の構成まで、すべて生徒たちが行い、曾於市内のコンビニや道の駅で配布している。このフリーペーパー企画は、鹿児島国際大学主催の「第1回高校生よかアイデアコンテスト」にて準優秀賞を獲得した。2年生は大隅町にある津曲食品、曾於市地域おこし協力隊と連携し、「あくまき」をつかった新しい商品を開発。実際の販売を目指し、アイデアから試作、パッケージデザインまで行う。自らが動き、実現させる生きたビジネスを目指している。



商業科のスゴイ その3

名刺交換や捺印まで！
超実践型の総合実習。

入室したら出勤簿に捺印。名刺交換のマナーを学び、生徒同士で実践。授業が終われば、営業日報を記入。必ずボールペンで書き、間違えたら訂正印という徹底ぶり。ビジネス文書の作成やPC操作全般も学び、スキルを習得する。

商業科のスゴイ その4

検定受験料、補助制度あり。

合格した検定受験料の50%を曾於市が補助。1年間の検定受験料が約2万円程度なので、最大1万円のキャッシュバックがある。

商業科のスゴイ その2

日商簿記検定取得で
即戦力を目指す「会計」コース。

企業が求める資格ランキング1位ともいわれる「日商簿記検定」。全国の平均合格率(社会人含む)は、25%前後となかなか難しいことから、県内の高校でも取り組むところは少ない。曾於高校では、独自の簿記特化型のカリキュラムや手厚いサポートを行い、取得率は県内でもトップクラス。「日商簿記検定1級」の合格も目指し、現役の公認会計士の講義などを行っている。この資格は、就職や大学の推薦条件になっていることも多く、1年生のうちから将来を見据えることができるのは大きい。

日商簿記検定2級
1・2期生の取得率

71%

曾於高校の 部活動 SNAP

運動部が 13、文化部が 8。学科や学年を超えて、生徒たちが切磋琢磨しています。



右) バスケットボール部 男子 10 名 女子 9 名
上原 翔太 (機械電子科 2 年)
谷村 麻生 (普通科 2 年)

上) 陸上部 14 名
稲留 安織 (商業科 2 年)
鮫島 喜樹 (畜産食農科 2 年)

下) 溶接工作部 7 名
ロボット班 大本 郁実 (機械電子科 2 年)
溶接班 井之元 璃玖 (機械電子科 3 年)





吹奏楽部 11 名
山之内 咲貴（普通科 2 年）



ソフトテニス部 5 名
小蘭 彩未（普通科 1 年）



ボクシング部 1 名
福田 雄斗（電子機械科 1 年）



茶道部 12 名
海江田 実咲（文理科 2 年）



簿記部 21 名
坂元 さくら（商業科 3 年）



ダンス部 9 名
岩松 美友（商業科 2 年）



コンピュータ部 8名
川下 泰知（機械電子科 2年）



美術部 7名
前田 恭子（文理科 2年）



硬式野球部 22名
山ノ内 溪介（機械電子科 2年）



書道部 3名
村下 菜々美（商業科 2年）



卓球部 12名
田中 楓恋（普通科 2年）



科学部 5名
中吉 銀次朗（機械電子科 1年）



左) バレーボール部 男子 18 名 女子 9 名

内野々 翔太 (文理科 2 年)

濱田 莉々 (商業科 2 年)

上) 弓道部 男子 7 名 女子 6 名

東別府 将 (機械電子科 2 年)

森岡 葉月 (普通科 1 年)

下) バドミントン部 男子 25 名 女子 2 名

中村 朱里 (商業科 1 年)

山之内 佳司 (畜産食農科 2 年)





硬式テニス部 2名
吉田 智香（商業科 1年）



サッカー部 36名
有川 一平（普通科 2年）



カヌー部 1名
永野 雄太郎（文理科 2年）

曾於高等学校を卒業し4年制大学などに進学した生徒に祝い金が！

曾於市教育委員会では総合支援対策事業として、部活動の支援や制服購入の補助、遠距離通学生へのスクールバス活用などの支援を曾於高校に行っています。そして今年度、卒業生への支援として「大学等進学祝金贈呈事業の拡大」が改正されました。

祝い金

国公立大学進学者および私立大学等進学者（成績値 4.5 以上の者）⇒ **30 万円**

平均水準以上の学力を有する者または今後学力の向上が期待し得る者⇒ **5 万円**

※高校卒業後、1人につき1回に限り贈呈します。

条件

保護者が曾於市に住所を有する生徒で、曾於高等学校を卒業後、**4年制大学等**（通信制・夜間制を除く）に進学し、6月以上在籍した者で校長が推薦する者

4年制大学等とは…

＊ 修業年限が4年以上である大学

＊ 3年制短期大学等（3年制の短期大学、看護師学校、診療放射線技師学校、臨床検査技師学校、作業療法士学校ほか養成所など）

この件に関する詳細、お問い合わせは…

曾於市教育委員会 総務課 ☎ 099-482-5956

